

〒145-0061 東京都大田区石川町1-14-11
グリーンヒルズ大岡山102号

TEL 03-6421-8320 FAX 3728-5071
Eメール jrroukairou@yahoo.co.jp

J R 東 海 労 働 組 合

発行人 淵上 利和
編集人 高山 浩

2014年
8月1日
第350号

JR東海労

http://www.geocities.jp/jrtoukairou/

山本さんお帰いなさい！

出向延長取消裁判勝利！

盛大に集会開催、共に喜び合う

東京高等裁判所は7月4日、東京地区分会山本修さんの強制出向延長取消裁判控訴審で、会社側より和解案が示され、組合側は同意し和解が成立しました。内容は、「出向中の山本さんを無条件でJR本体に戻す」「本日和解するのであれば、8月1日付けで東京交番検査車両所に戻す」というもので、組合側の完全勝利です。

一審の東京地方裁判所は4月15日、山本さんの請求を却下しましたが、東京高等裁判所の進行協議で裁判官は、労働協約・出向規定に「延長」の



規定が無いにもかかわらず出向延長を強制するとは問題であるとの見解を示しました。会社は、山本さんを元職場に戻せない理屈を並べていましたが、この主張が虚偽であったことが証明されたのです。

この画期的な決定を受け、新幹線地本は7月18日、「強制出向延長取消裁判完全勝利！7・18集会」を開催しました。成田委員長は、主催者を代

と認めさせたこと、会社の傲慢な人事運用に穴を開けたことは大きな意義がある」と訴えました。東京地区分会佐藤分会長は、「裁判闘争の戦略・戦術が正しかった。各分会・OBの皆さんがしっかりと支えてくれた。山本さんも職場から声を出してきた」と訴えました。

各地本・分会などからの連帯挨拶・決意表明の後、山本修さんは「仲間会を迎えることができた。これからもがんばっていく」と力強い決意表明を行いました。

不当！ナスカットを許すな！

新幹線関西地本本人訴訟

名古屋地本中労委それぞれ開催

第三者機関を活用した取り組みで、新幹線関西地本竹本さんのボーナスカット本人訴訟の第2回裁判が7月15日に大阪地

方裁判所で、名古屋地本ボーナスカット中労委の証人審問が7月25日に行われ、両者とも連帯のため、多くの傍聴者

が駆けつけました。竹本さん本人訴訟では、会社が提出した答弁書には「カット理由20項目」には具体的な事象が明示されていなかったため、竹本さんは「どの管理者が、何を指摘したのか」を明らかにするように訴えました。裁判所からは、答弁書の認否を次回までに提出するよう求められ、それを了承しました。

中労委の証人審問は、名古屋地本丹羽副委員長が証言しました。丹羽副委員長は、ボーナスカットがされた背景、JR東海労働組合員ばかりに添乗が連続して行われている実態、会社が主張する「非違行為」はカット理由に値しないことなどを堂々と証言しました。

原子力規制委員会は16日、九州電力川内原発について、安全対策は新規規制基準を満たしているとする。「審査書案」をまとめた。だが、田中委員長は「安全だとは私は言わない」との見解を示した。一方、安倍政権は、規制委が認めた原発は再稼働する方針である。審査は合格、安全は保証しない、再稼働の判断は政府や自治体、いかにも逃げ道をつくらせているようだ。本来、審査は安全の太鼓判を押すことである。▼そもそも、その審査というのがいい加減だ。住民の避難方法は審査対象から除外、川内原発の付近は中央構造線が走る。さらに、使用済み核燃料の処分方法が明記されない再稼働は言語道断だ。これで、原子力規制委員会は、原発再稼働を進めるための一機関だということが証明された。▼さて、日本国中の原発再稼働を夢見るJR東海葛西名譽会長は、「原子力の安全と利用を促進する会」の発起人になった。「大気汚染と地球温暖化を防ぐには、発生源である火力発電の代わりに原発を活用せよ」という持論は、原発を少しでも勉強した方なら、これがデマと分かるだろう。▼私たちは、原発核兵器工場の再稼働反対の闘いを展開する。未来の地球のために！

安倍政権の「戦争をできる国づくり」反対！ たしろかおる再選準備の体制を確立しよう！ 各地本定期大会成功裡に終わる



各地本は定期大会を開催し、安倍政権の「戦争をできる国づくり」反対の闘い、たしろかおる再選準備の体制確立、リニア中央新幹線建設反対の闘い、反原発の闘い、職場活動を通じた組織強化・拡大の闘いなどの運動方針(案)を満場一致で決定しました。

新幹線地本は6月29日、目黒さつき会館で第20回定期大会を開催しました。質疑では、職場問題点、組織強化・拡大の闘い、不当なボーナスカットをされた仲間からの闘う決意表明など、16名全代議員が発言しました。また、強制出向延長取消裁判を最後まで全体で闘うことを確認しました。

静岡地本は7月18日、労政会館で静岡第25回定期大会を開催しました。質疑では、地労委の闘いをはじめ、遠距離通勤、4連泊行路などの勤務実態、出勤遅延を契機とし



静岡地本は7月6日、大阪市立市民交流センターひがしよどがわで第20回定期地本大会を開催しました。質疑では、労働審判・本人訴訟の闘い、ボーナスカットと専任Vを許さない闘い、職場の安全問題などについて、全代議員が発言しました。また、今年1月にJR東海労に加入した渡邊幹夫さん(仕業検査車両所分會)に次ぐ組織拡大の闘いを推し進めるために奮闘することを確認しました。

名古屋地本は7月10日、名古屋市金山アピタで、第24回定期大会を開催しました。質疑では、職場からの闘いを中心とした意見など、全代議員が発言しました。大詰めとなったボーナスカット中労委、掲示板三重地労委の闘いを中心に、全組合員で闘うことを意思統一しました。



6日、大阪市立市民交流センターひがしよどがわで第20回定期地本大会を開催しました。質疑では、労働審判・本人訴訟の闘い、ボーナスカットと専任Vを許さない闘い、職場の安全問題などについて、全代議員が発言しました。また、今年1月にJR東海労に加入した渡邊幹夫さん(仕業検査車両所分會)に次ぐ組織拡大の闘いを推し進めるために奮闘することを確認しました。



7月21日、静岡労政会館で「リニア新幹線ネットワーク全国集会」および「南アルプスとリニア講演会」が開催されました。100名を超える市民などが参加しました。JR東海労からも静岡地本を中心として、組合員

環境を破壊するリニア！ 静岡で集会と講演会 開催される

7月21日、静岡労政会館で「リニア新幹線ネットワーク全国集会」および「南アルプスとリニア講演会」が開催されました。100名を超える市民などが参加しました。JR東海労からも静岡地本を中心として、組合員

2014年7月1日、安倍政権は、やってはいけません。集団的自衛権の行使容認という日本国憲法の平和主義を真っ向から否定する暴挙を僅か20人足らずの内閣で「閣議決定」してしまつたのです。戦後69年にわたり護り続けてきた日本の世界に誇べき平和主義と世界からの信頼を崩壊させてしまつたのです。



博明静岡大学名誉教授より「南アルプスと残土」というテーマで特別報告を、柴崎直明福島大学教授より「大井川の水と地下水の影響」というテーマで基調講演をそれぞれ受けました。最後に、リニア建設の凍結を求めるアピールを採択しました。

今回の「閣議決定」は、極めて特殊で独善的な歴史観と国際情勢認識に基づくものであり、断じて認めることはできません。近代国家の礎である立憲主義・法治主義の観点からも無効です。

私は、アフガンでの支援活動の過程で、西アジアから中東、北アフリカ地域における日本と日本人への圧倒的な信頼感、期待感を痛いほど体感してきました。それは、日本の持つずば抜けた技術力と経済力に裏付けられた、平和的な民生分野に限定した途上国支援の評価と受け取れるのではな

安倍首相は、「国民の命を守るために」と言いますが、国民を盾にしています。絶対に許さず、元の平和主義の日本を民衆の手で取り戻しましょう！

今回の安倍政権の暴挙は、大戦による犠牲者約300万人の尊い犠牲と反省から生まれた平和国家日本の国際的信頼という財産を無にする愚かな行為です。このことよって今後は、日本がテロの対象国になることが予測されるようになってしまいました。また、海外派兵された自衛隊員が人を殺したり、命を落としたりすることが現実味を帯びてきました。

